

NO.430

平成 26 年度
三田市人権ポスター入賞作品



人権さんだ



人権さんだは、みなさんに人権に関する気づきや情報などをお届けします。新たな発見や共感したことなどを含めてご意見、ご感想を人権推進課までお寄せください。
問い合わせ＝まちづくり部人権推進課
(559-5081-5148 FAX 563-3611 e メールアドレス jinken_u@city.sanda.lg.jp)

『福を運んだ人形まわし』 ～「人権を考える市民のつどい」から～

昨年12月6日に行われた「人権を考える市民のつどい」では、阿波木偶箱まわし保存会の皆さんをお招きして、人権に関する講演と徳島県に伝わる正月の祝福芸「阿波木偶箱廻し」をご披露いただきました。本紙面では、公演の一部をご紹介します。

講演中の
辻本一英さん



今日は、部落問題と人形まわしに的を絞って、皆さんと人権文化を共有したいと思います。

住井すすきさん(※)は、「文化とは命を育むものだ。それ以外を文化と呼ぶではならぬ。そして、その文化の対極にあるものは、戦争と差別だ」と言われました。この三田市が、文化的で命に優しいまちになっていくかどうかは、今日集まられた皆さんが周りの人々を取り込み、巻き込んで、まちぐるみで人権尊重のまちづくりに取り組んでいかれることにかかっています。

「えびすまわし」や「大黒まわし」は、私のばあさんやおばさんもやっていましたが、残念なことに、今ではこれらの道具が残っていません。「人形まわしはまともな仕事ではない、餅もらい、物もらいだ」と蔑まれました。「子や孫が、うちに大黒さんやえべっさんの人形があると云ったら、将来、縁談にどう差し障るかわからない」とばあさんたちは心をいたしました。徳島県では、そのことで結婚差別を受け、若い男女が心中した事件があったこともあり、村では人形を川に流してしまつたのです。「えびすまわし」や「大黒まわし」は、世界遺産となつた



三番叟まわし(上写真)と箱廻し(右写真)を演じる中内正子さん・南公代さん

文楽の源流の一つだと言われています。信仰に裏打ちされた門付け芸で、民家を二軒二軒まわって幸せを祈りました。しかし、差別によつてこの文化は消されてしまいました。人権侵害は、友だちや恋人、教育や仕事、健康や命を奪い、さらに大切な有形・無形の文化遺産を壊していったのです。

「日本には2つの差別がある。それはアイヌ民族への差別と部落差別だ」と、海外で出会つた人から指摘を受けます。日本が国際的に認められるようになるには、この差別的解決が不可欠ということが世界の共通認識となつていきます。

子どもたちが世界で活躍するには、生まれた故郷の歴史や文化を学び、誇りを持ち、豊かな人権感覚を身につけることが必須条件となつていきます。このまちの文化レベルは、皆さんが取り組まれている同和教育運動、人権文化運動が左右していくことを忘れな

※1902年生まれ。奈良県出身の小説家。代表作の『橋のない川』では、部落差別の理不尽さや不条理さを描き、差別に反対し、人間の命や平和の尊さを訴えた。



人権標語・ポスター
優秀表彰



人権フォトコンテ
スト入賞表彰

わたしのまちの地域部会開催のお知らせ

～どなたでも参加できます～

参加無料

あかしあ台地域部会

日時：1月25日(日)10時30分～12時
場所：ウッディタウン市民センター 大集会室
講演：三遊亭楽団治さん

三輪・松が丘地域部会

日時：2月7日(土)13時30分～15時30分
場所：キッピーモール6階 多目的ホール
内容：トーク&ライブ「三線でつながろう～唄と三線に想いをのせて～」
(淡路ぬ二セター)

富士地域部会

日時：1月31日(土)13時30分～15時30分
場所：富士小学校 多目的室
講演：「身近な生活と人権～気づきと実行～」
講師：春川政信さん(三木市立別所中学校長)

